

製造にクラウドを活用する 6つのメリット

製造業のクラウド活用には、次のようなメリットがあります。

- 20%: 市場投入までの時間が短縮
- 18%: プロセス効率が向上(平均値)
- 15%: IT費用を削減(平均値)*

しかし、これらは日常業務にどのように影響するのでしょうか？

*Vanson Bourne(市場調査会社)

オンサイト・システム

クラウド

プロセスの効率性と迅速性

ハードウェアの能力や従業員の能力によって処理能力に限界がある。

並行処理によって、より少ない人員でより多くのオーダーをより短期間で処理できる。



需要が急増した時にソフトウェアやハードウェアを簡単に増やせない。

リソースを必要に応じてすぐに増減させることができ、柔軟な対応が可能。



コスト効果

ソフトウェアがなかなかバージョンアップされない。

稼働中でもサービスのアップデートが即座に実行され、ユーザーが常に最新バージョンを使える。



使いこなせるかどうか分からないITインフラストラクチャに高額な導入コストと保守コストが必要。

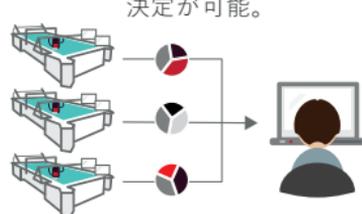
必要なときに必要な機能に対してのみ費用を支払えばよい。



可視性

客観的なデータではなく感覚的な情報に基づいた意思決定が行われてしまう。

リアルタイムな生産データの分析や監視がどこからでも可能なため、すばやい意志決定が可能。



複数の拠点で作業する場合にプロセスや製品の統一性維持が困難。

複数の拠点間でのプロセスの標準化とベストプラクティスの共有が簡単。



製造にクラウドを活用する 6つのメリット

クラウドベースの レクタデジタル裁断プラットフォームについて よくある質問

プロセスの効率と俊敏性



インターネットが切断されると生産が停止しますか？

裁断機に送信された裁断ジョブはローカルの「バッファ」に保存されて処理されます。バッファに保存する裁断ジョブの数はお客様が設定できます。裁断ラインでは、すでにバッファ内で処理済みのジョブを実行して裁断を続けることができます。



インターネットが切断された場合、裁断ジョブ情報は どうなりますか？

すでにバッファ内にある裁断ジョブは、接続が戻ったときに自動的に抽出されて裁断機に送信されます。

コスト効果

クラウドを使用した場合、IT関連以外で節約できる コストはありますか？

クラウドで作業することにより、光熱費も削減できます。クラウドを使用すると電力消費量が減り、社内にIT設備を持つより効率的です。



我が社の既存のITインフラを再構築する必要が ありますか？

いいえ。プラットフォームは標準的なITインフラと互換性を保つように設計されています。このプラットフォームを使用するための前提条件は最小限です（高速インターネット接続、専用サーバーなど）。



可視性



クラウドにはどのような情報が保存されますか？

オーダーおよび準備プロセスに関連する情報だけがクラウドに渡されます。これには、以下に関連するデータが含まれます。

- パターン
- マーカー
- 生地
- 裁断オーダー
- 裁断ジョブ
- KPI/KOI



私のデータは安全ですか？

レクタでは、Microsoft Azureプラットフォームを使ってデータを保存しています。各社のデータは会社ごとに個別に保存されます。レクタは、お客様のデータを常に機密情報として扱います。すべてのデータが暗号化されます。レクタは、規約に定められている場合を除き、収集された情報にアクセスしたり、使用、共有を行うことはできません。